

FREE

2022 夏

ラ・サンテ

La.Sante

100年ライフをすこやかに。

◆ 巻頭特別座談会

大学病院、一般病院 新たな役割と方向性
医療連携で「分担」と「協働」が促進

富山大学附属病院 病院長

林 篤志氏

医療法人社団藤聖会・親和会 理事長

藤井 久丈氏

富山西総合病院 院長

麻野井 英次氏

富山西リハビリテーション病院 院長

野上 予人氏

◆ 対談

「モノ」から「コト」へ
医療系商社に期待する役割

社会医療法人財団董仙会 理事長

神野 正博氏

×

エム・シー・ヘルスケア

ホールディングス株式会社 代表取締役社長

木村 真敏氏

◆ 地域医療最前線

ねがみ みらいクリニック 院長

根上 昌子氏

◆ 医療現場の安全・安心を支えて半世紀

環境開発株式会社 トップインタビュー

◆ 管理栄養士による免疫力アップレシピ

ALL Hokutsuでデータヘルスの「最先端」へ



"INNOVATION" ALL Hokutsu

Hokutsu 人と社会をつなぐ情報通信カンパニー

株式会社 ほんつう
富山支社

〒930-8518 富山市綾田町一丁目7番23号
電話 (076) 431-1111 (代表)
<https://www.hokutsu.co.jp>



人々の健康と医療を
応援します。



PRO+
medical

プロメディカル株式会社

[本社・金沢支店] 〒920-0025 石川県金沢市駅西本町1丁目1-33
Tel.076-233-5588 Fax.076-233-0080
<http://promedi.co.jp/>

●事業内容

医療材料/医療機器/各種病院設備機器
メンテナンス/リハビリ機器/開業支援/手術用器械 など

●M.A.Laboratory

医療機器の製造販売/研究開発/薬事業務

【富山営業所】
〒939-0362
富山県射水市太閤山1丁目133-1
Tel.0766-50-9588 Fax.0766-50-9589

【福井営業所】
〒918-8231
福井県福井市問屋町3丁目812 マエダビル102
Tel.0776-63-6958 Fax.0776-63-6957

【関西営業所】
〒663-8126
兵庫県西宮市小松北町1丁目1-30
Tel.0798-31-0888 Fax.0798-31-0884

【名古屋営業所】
〒460-0012
愛知県名古屋市中区千代田1丁目16-20 アネリス美和2階
Tel.052-269-3788 Fax.052-262-7588

【M.A.Laboratory】
〒920-0025
石川県金沢市駅西本町1丁目1-33
Tel.076-233-5591 Fax.076-233-5593

地域に密着した医薬品総合商社 明祥株式会社



目まぐるしく変化する医療の現場。

私たち明祥は北陸の医薬品卸売事業で培った地元のネットワークを活かし、
地域医療の要である医療事業者のみなさまが抱える
様々な課題解決サポートに取り組んでまいります。

医療機関経営サポート

- ・収益安定化、生産性、待遇向上
- ・業務分析、業務改善
- ・各種院内勉強会
- ・医療経営セミナー 等



新規開業サポート

- ・物件等各種調査
- ・各種届出書類作成支援
- ・職員研修(スタートアップセミナー等)

開業の基礎知識がここにあります。

クリニック新規開業
個別相談会 随時開催中



詳細・お申し込みはこちらにアクセス▶

システム導入・活用サポート

- ・電子カルテ、レセコン
- ・院内物流システム(SPD)
- ・経営分析システム(DPC)
- ・医療機器(内視鏡、CT等)



確かな実績とアドバイス

- ・医業経営コンサルタント
- ・医療経営士2級
- ・医療経営士3級
- ・管理栄養士

多数在籍



 明祥株式会社

お問い合わせ先：コンサルティング
Tel:076-266-4033(直通) Mail: cs@msshs.com
相談無料、相談内容、秘密厳守致します。

めいしょう で 検索

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresagroup

超高齢社会と新興感染症の波を受け、地域に必要とされる医療の在り方が転換期を迎えています。団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて都道府県が「地域医療構想」の策定を進める中、大学病院と一般病院はどう連携していくべきでしょうか。5年前、富山県内初の医療連携協定を結んだ富山大学附属病院と藤聖会グループの医療機関のトップの先生方に、それぞれの病院の新たな役割と方向性について語っていただきました。

大学病院、一般病院 新たな役割と方向性



林 篤志氏
富山大学附属病院 病院長



藤井久丈氏
医療法人社団藤聖会・親和会 理事長



麻野井英次氏
富山西総合病院 院長



野上予人氏
富山西リハビリテーション病院 院長

富山県初の医療連携協定

藤井 林先生、本日はご多忙の中、お越しいただきましてありがとうございます。富山大学附属病院と私も富山西総合病院、富山西リハビリテーション病院とともに富山市西部に位置し、距離的にも近く、県内に先駆けて医療連携協定を締結し、緊密な交流を重ねております。本日の座談会では、医療連携協定によってお互いの病院がどのように変わったのか、その成果等をあらためて振り返るとともに、私たち一般病院と大学病院のこれからの在り方と方向性について、一緒に考えていく1つの機会になればと思います。

林 こちらこそ、よろしくお願いたします。藤井先生をはじめ藤聖会グループの先生方と、こうしてじっくりお話しするのは今回が初めてであり、私も楽しみにして参りました。

藤井 医療連携協定のお話に関連して、

まずは藤聖会グループについて、あらためてご紹介させていただきたいと思っております。私たちのグループは1987年開設の八尾総合病院からスタートし、以来、「医療・介護・福祉に軸足を置いた地域医療」と「時代のニーズに対応した専門性の高い医療」の2つを経営方針の柱としています。また、住み慣れた地域で最期まで暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療、介護、福祉が緊密に連携した組織づくりを進めております。

そうした流れの中で2017年11月に富山西リハビリテーション病院を開設し、それと同時に富山大学附属病院と医療連携協定を結びました。合わせて八尾総合病院とも締結しております。その3カ月後の2018年2月には富山西総合病院が完成し、同じく協定書を交わしました。

医療、看護に一貫性

林 大学病院は従来、急性期の治療を終えると、あとは地域の医療機関にお任せし、治療や看護の流れが途切れていました。連携協定を結んだことで、退院後も大学の医師らが藤聖会グループの先生方と一緒に患者さんの治療に携わるようになり、一貫した医療、看護の提供が可能になりました。患者さんの行き来の増加はもとより、医療スタッフの交流や人材育成、若手医師らの教育面など幅広い分野で成果を上げています。協定から5年を経て、藤井先生の先見の明にあらためて感服しております。

藤井 私たちの方こそ感謝申し上げます。2014年に国から地域包括ケアシステムの指針が発表され、医療の役割・機能分担を明確にして連携を強める動きが本格化しました。私たちのグループもその流れに沿って富山二次医療圏での地域包括ケアシステムの整備を進めました。具体的

には、グループ内で急性期から回復期、慢性期、在宅医療、介護までをワンストップで提供できる体制を整え、切れ目のないセルフティーネットをつくることを喫緊の課題としてまいりました。医療連携は、そういった流れを汲んでいただき、富山大学も一緒になって、地域医療に積極的に関わっていくのだという意思の表れだったと受け止めています。

林 かつての富山大学附属病院は専門分野の研究が中心の先生方が多かったと思います。しかし、附属病院で手術される患者さんの90%以上は紹介の患者さんです。紹介がなければ手術もできないし、教育もできません。地域の先生方との連携を最優先しなければ附属病院は発展しなかったのです。

医療連携で「分担」と「協働」が促進

垣根超え、価値観を共有

野上 富山大学附属病院は良い意味で、以前と比べて随分変わったように思えます。

林 私が2015年に副病院長に就任した頃、附属病院は3億円超の赤字を抱えていました。附属病院の再建には研究だけでなく臨床能力にも優れた教授をそろえる必要があります。そこで齋藤滋前病院長のもと、教授選考時に臨床能力も重視し、卓越した人材を募りました。こうして選ばれた新しい教授陣に共通しているのが、「垣根を超えた連携なくして道は開けない」との危機意識でした。

以来、「垣根を超えた連携」が富山大学附属病院のキーワードの1つになっています。2018年9月に

日本に唯一の「膵臓・胆道センター」を設立したのを皮切りに「糖尿病センター」「がんゲノム医療推進センター」「ジェンダーセンター」「こども医療センター」などの中央診療施設を次々と開設し、各診療科が横断的に連携する体制を整えました。病院内だけでなく、地域の医療機関との連携は不可欠です。医療連携協定は、大学病院のスタッフが患者さんの流れを軸に、藤聖会グループをはじめとする地域の医療機関と同じ目線、同じ価値観を持って協働していく契機となりました。

藤井久丈 (ふじい・ひさたけ)

医療法人社団藤聖会・親和会 理事長

- 1980年 金沢大学医学部卒業
- 1985年 同大学院修了。同大学附属病院第2外科入局、北陸3県の関連病院勤務
- 1989年 医療法人社団藤聖会八尾総合病院 病院長
- 2001年 同医療法人理事長
- 2004年 全国高等学校PTA連合会会長
- 2006年 女性クリニックWe!TOYAMA開設
- 2007年 金沢メディカルステーションヴィーク開設
- 2008年 富山サイバーナイフセンター開設
- 2012年 医療法人社団親和会山田温泉病院理事長
- 2017年 チューリップ長江病院開設、富山西リハビリテーション病院開設
- 2018年 富山西総合病院開設
- 2021年 社会福祉法人慶寿会理事長

専門は一般消化器外科、乳腺外科。公益社団法人全日本病院協会富山県支部長、富山県医療審議会委員、富山大学医学部臨床教授、金沢医科大学臨床教授、富山市教育委員、富山経済同友会幹事 他。

麻野井英次 (あさのい・ひでつぐ)

医療法人社団 藤聖会富山西総合病院 院長
内科・循環器内科医師

- 1975年 金沢大学医学部卒業
- 1975年 金沢大学医学部第一内科入局
- 1981年 (財)心臓血管研究所研究員
- 1984年 富山医科薬科大学(現富山大学)第二内科助手
- 1993年 富山医科薬科大学第二内科講師
- 2002年 富山医科薬科大学第二内科助教授
- 2005年 新湊市民病院(現射水市民病院)院長
- 2017年 射水市民病院 名誉院長
- 2017年 大阪大学国際医工情報センター 慢性心不全総合治療学共同研究部門特任教授
- 2020年 富山西総合病院院長
- 大阪大学国際医工情報センター招聘教授

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医 等

野上予人 (のがみ・かねひと)

医療法人 親和会富山西リハビリテーション病院 院長
脳神経外科・リハビリテーション科医師

- 1984年 富山医科薬科大学医学部卒業
- 富山医科薬科大学医学部脳神経外科教室入局
- 1987年 富山医科薬科大学医学部脳神経外科勤務
- 2017年 山田温泉病院勤務
- 2017年 富山西リハビリテーション病院副院長
- 2020年 富山西リハビリテーション病院院長

日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医

野上 では具体的などのような連携が進んでいるのか、まずは富山西リハビリテーション病院から説明させていただきます。私たちの病院は2017年11月の開院と同時に富山大学附属病院と医療連携協定書に調印しました。当時、富山県内にリハビリテーション病院は少なく、急性期病棟、残りの60床を療養病棟として運用していましたが、市内の急性期病院や隣の富山西総合病院からの転院が増えて、すぐに全病床を回復期リハビリテーション病床としました。結果として、県内最大の回復期リハビリテーション病床を有するリハビリ病院となりました。6月1日現在で73人のリハビリスタッフがおり、入院リハビリ、外来リハビリはもちろん、在宅訪問リハビリや通所リハビリなどの幅広いリハビリに対応しています。



林 篤志 (はやし・あつし)

富山大学附属病院 病院長

- 1988年 大阪大学医学部卒業
- 1988年 大阪大学医学部附属病院眼科 研修医
- 1995年 ジョンスホプキンス大学 ウィルマー眼研究所 Research fellow
- 1997年 大阪大学医学部眼科 助手、学内講師
- 2001年 医療法人 明和病院 眼科部長
- 2006年 カリフォルニア大学サンフランシスコ眼科 Associate Adjunct Professor
- 2007年 富山大学 眼科学講座 教授
- 2015年 富山大学附属病院 副病院長
- 2019年 富山大学附属病院 病院長
- 2019年 富山大学 副学長

林 富山大学附属病院は県内唯一の特定機能病院として高度急性期医療を担っています。2018年4月に県内の脳卒中医療をさらに向上させるために、「包括的脳卒中センター」を開設し、365日24時間体制で脳卒中の患者さんを受け入れています。しかし、急性期治療後のリハビリや慢性的な症状の患者さんのリハビリ、さらに退院後の継続的なケアまでは手が回りにくのが実情です。富山西リハビリテーション病院は、距離的に最も近いリハビリ専門病院であり、両病院が協力し合うことで患者さんを一貫して支え、治す体制が整ったことを喜ばしく思います。

また、紹介されるだけの連携ではなく、日常の診療面でも大学の脳外科医師に定期回診に来ていただくなど協力体制を築いています。毎週木曜に当院の医師やリハビリスタッフと一緒に、数名の先生が病室を回っていますね。退院したら大学の外来に来てくださいね」などと優しく声掛

診療、リハビリでもタッグ

期を担う富山医療圏の公的病院入院治療後のリハビリを引き受ける回復期リハビリテーション病床が必要とされています。特に大病院は当院から最も近い2次・3次救急の病院ですから、真っ先に大病院と医療連携協定を結びました。

野上 実際に富山大学附属病院から昨年度紹介されて転院されてきた患者さんは110人を超え、公的急性期病院の中では最も多い状況でした。このうち私が専門の脳血管疾患の患者さんは72人、整形外科疾患が32人などとなっています。連携によって地域包括ケアの円滑化が一層進んでいると思います。

「富山サイバーナイフセンター」病棟に対して多方向から集中的に放射線を照射することで、あたかもナイフで切ったように正確に治療できる「サイバーナイフ」による治療を受けられる施設。藤聖会が2008年に関連医療機関の五福脳神経外科(富山市)に日本海側で初めて開設した。

【医療連携協定】それぞれが有する医療機能を十分發揮することにより、患者に質の高い医療を提供することを目的とする。連携内容は、患者の紹介及び受け入れや、医療スタッフの質の向上について緊密に連携することなど。今年6月時点で富山大学附属病院と医療連携協定を締結するのは、富山西リハビリテーション病院、八尾総合病院、富山西総合病院、高岡ふしき病院、西能病院、射水市民病院、藤木病院、かみいち総合病院の8医療機関。

【ジェンダーセンター】富山大学附属病院が昨年10月に開設。性同一性障害(GID)の人が外科治療などを受けられる北陸初の施設で、乳房再建の国内第一人者である佐武利彦教授がセンター長を務める。形成再建外科・美容外科や産婦人科、泌尿器科、神経精神科などの医師に加え、看護師や臨床心理士らが連携し、治療にあたる。

【女性クリニックWe!富山】富山県内初の性差医療を掲げた女性専門クリニック。婦人科、不妊治療の他、乳腺外科、美容形成外科さらにトランスジェンダー外来も行う。藤聖会が2006年に開設。

【富山サイバーナイフセンター】病棟に対して多方向から集中的に放射線を照射することで、あたかもナイフで切ったように正確に治療できる「サイバーナイフ」による治療を受けられる施設。藤聖会が2008年に関連医療機関の五福脳神経外科(富山市)に日本海側で初めて開設した。

けしてもらったりしています。患者さんも大学でお世話になった先生方の顔が見られて、リハビリのやる気も高まっています。

林 医師と患者さんの信頼関係が重要であることは言うまでもありませんが、両病院の医師やスタッフ同士が互いに顔の見える関係を築くことが、結果的に患者さんやご家族の安心につながっているのだと思います。2年前に富山大学附属病院にリハビリテーション科を開設しましたが、こちらの連携もうまくいっていますか。

野上 リハビリテーション科開設と同時に服部憲明教授に当院に来ていただき、リハビリスタッフの教育をお願いしています。また、当院から大学病院にリハビリスタッフ(OT、PT)を研修として派遣し、オペの見学や「手の外科」のスプリント療法、急性期患者さんのベッドサイドでのリハビリなど多岐にわたる内容を勉強させていただいています。

服部教授には当院の「ロコモフレイル外来」の開設にも尽力していただ

きました。今月3回、服部教授に来ていただいています。この外来の評判がとて良く、多くの患者さんが受診されています。このほか、難渋症例の診察や症例検討、学会発表

大学病院医師の勉強にも

林 富山大学附属病院の医師にとっても、一般病院でより幅広い患者さんと接することで、大学病院ではあまり見られない症例経験や医療活動ができる良い機会になっていると思います。

藤井 交流が教育や研究面にも役立つっており、そういった意味で奥の深い関係を築けたように思います。では次に、医療計画、特に5疾病5事業における富山西総合病院と大学病院の連携について麻野井院長に説明をお願いします。

麻野井 はい。昨年度、富山大学から転院して来られた患者さんは136人に上ります。医師の派遣において

のサポートなどリハビリの質向上に支援をいただいています。リハビリテーション科の若手の先生には外来診療に加えて、院外に出て訪問リハビリにも参加していただいています。

は金沢大学や金沢医科大学にも協力いただいておりますが、患者さんの紹介数は富山大学が群を抜く多さです。

脳疾患や慢性心不全、虚血性心疾患などの患者さんは長期的な治療が必要で、一貫して診ていく必要があります。継続的な治療や機能回復は私たちが担当し、クリティカルな状態に陥った場合は大学病院に橋渡しする。この流れがとてもスムーズに

情報共有が患者の安心に

藤井 同じ医療圏のご近所同士であり、

なりました。

専門外来では循環器、呼吸器、脳外科など10診療科に大学から来ていただいています。循環器では心臓カテーテル治療について教えていただいたり、治療チームに加わっていたりしています。富山大学は経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)を2015年に北陸で初めて導入し、治療件数は北陸最多です。北信越地域で唯一の透析患者さんに対するTAVIが可能な医療機関でもあり、交流を通じて私たちの治療やリハビリのレベルアップも図られています。また、この地域で急増する高齢心不全患者さんに対応するため、開業医の先生方や介護施設職員らも対象にした勉強会の開催に向けて、絹川弘一郎教授にもご協力をお願いしております。

これからは介護福祉も含めた連携を考えていきたいですね。円滑で切れ目のない地域包括ケアシステムの構築こそ患者さんの信頼に応えるものです。そのためには情報の共有は本

円滑な地域包括ケアへ「異体同心」

当に大切だと思っています。富山大学と西総合、西リハの3病院で毎月2回カンファレンスを行っており、八尾総合病院を加えた合同会議も年2回開いています。

林 定期的に合同カンファレンスなどを開いて情報共有を図っていると感じば患者さんも安心ですし、転院もしやすく、患者さんの支援強化になります。富山大学附属病院では藤聖会グループを皮切りに、これまでに県内8医療機関と連携協定を結んでおり、年に1回、全ての連携病院との懇話会も開いています。「異体同心」の団結で富山を守るという意識が大切であり、今後も連携先は増やしたいと思っています。

麻野井 コロナ対応でも症例検討や対策面の指導などをしていただいています。2024年度からの第8次医療計画には新興感染症の対応が追加される見通しであり、医療計画に則した連携を継続させていただきたいと思っています。

林 コロナに関連して申し上げますと、医療連携によって転院先が確保でき、病床に余裕が生じたことで、急速な感染拡大にも柔軟に患者さんを受け入れることができました。ほぼ10年ごとに新規感染症が発症しており、今後も起こり得ると考えると、病床は常に柔軟に対応できるようにしておく必要があります。この点からも医療連携は有意義であると考えます。

不可欠です。研究に関しては富山大学だけでなく、大阪大学など全国の大学病院や企業とのネットワークを構築して進めています。また、麻野井院長は大阪大学の大学院生の論文指導も担当するなど、学術分野でも広く活動しています。

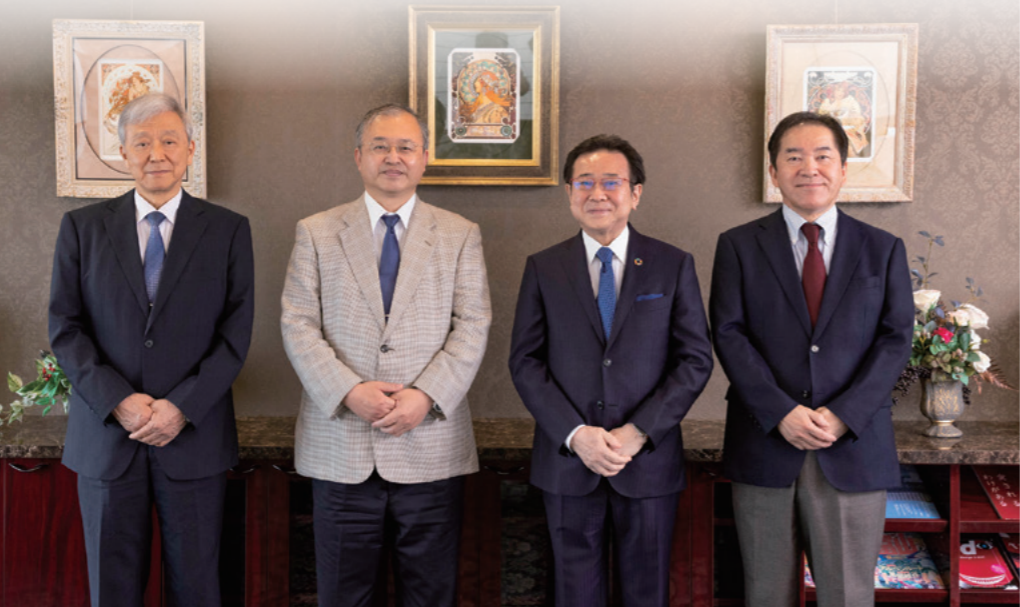
林 一般病院で研究をされているのはすごいことだと思います。しかも、これから必要性を増すテーマを先取りし、その解決に向けて取り組んでいらいっしょることに感銘しました。

麻野井 ありがとうございます。研究に取り組むことは医師や医療スタッフのリサーチマインドを醸成し、モチベーションも高まります。

藤井 先ほど林先生がお話しされた大学病院の中央診療施設の1つ「ジェンダーセンター」は、私どもの関連医療機関である「女性クリニックW e-富山」と連携させていただいています。

林 はい。藤聖会グループの関連医療機関では「富山サイバーナイフセンター」とも、がん治療で協力をいただいています。

藤井 連携の輪が着実に広がり、深まっていることをうれしく思います。時代とともに病院の在り方は変わり



ます。従来のな考え方だけでなく、ニーズに合わせた新しい一歩を踏み出すことが大切です。大学病院、一般病院それぞれが志を持ち、地域医療の調和と安定に向けて、これからも力を合わせていきたいと思っています。本日は貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございます。

大学病院と共同研究も

麻野井 大学病院と共同研究も進めています。先ほど申し上げました高齢心不全の患者さんの状態を施設やクリニックなど、どこにいても把握できる遠隔診断システムの実用化に向けて、絹川教授にもご支援をいただいています。これはAI(人工知能)とICT(情報通信技術)を組み合わ

せたシステムで、大阪大学、富山大学など全国6医療機関で実施した医師主導治験が昨年10月に無事終了し、企業の協力も得て試験運用まで漕ぎつけました。

藤井 患者さんのための研究に私たちのような一般病院も取り組むべきであり、それぞれ大学病院との交流は



株式会社 アルプ 調剤薬局 アルプ薬局 / 臨床検査 / 食品・環境衛生検査 / コンサルタント業務

真のソリューションを実現する
価値あるサポート。

医療機器・科学機器の技術商社

明日の健康と新産業創造のパートナー
丸文通商株式会社

富山支店

〒939-8221 富山県富山市八日町 247 番地 41
TEL 076-429-7190 FAX 076-429-3277
<http://www.marubun-tsusyo.co.jp/>



眼の医療のために、できること

北陸圏を中心に最新の医療機器及び医療用医薬品、そして眼科医療の為の専門的なサービス「眼科修理メンテナンス」「眼科開業支援サービス」「製品開発事業」「眼科メディア支援事業（ホームページ制作）」を提供しております。

SANWA MEDICAL

三和メディカル株式会社 <http://www.sanwamedical.co.jp>

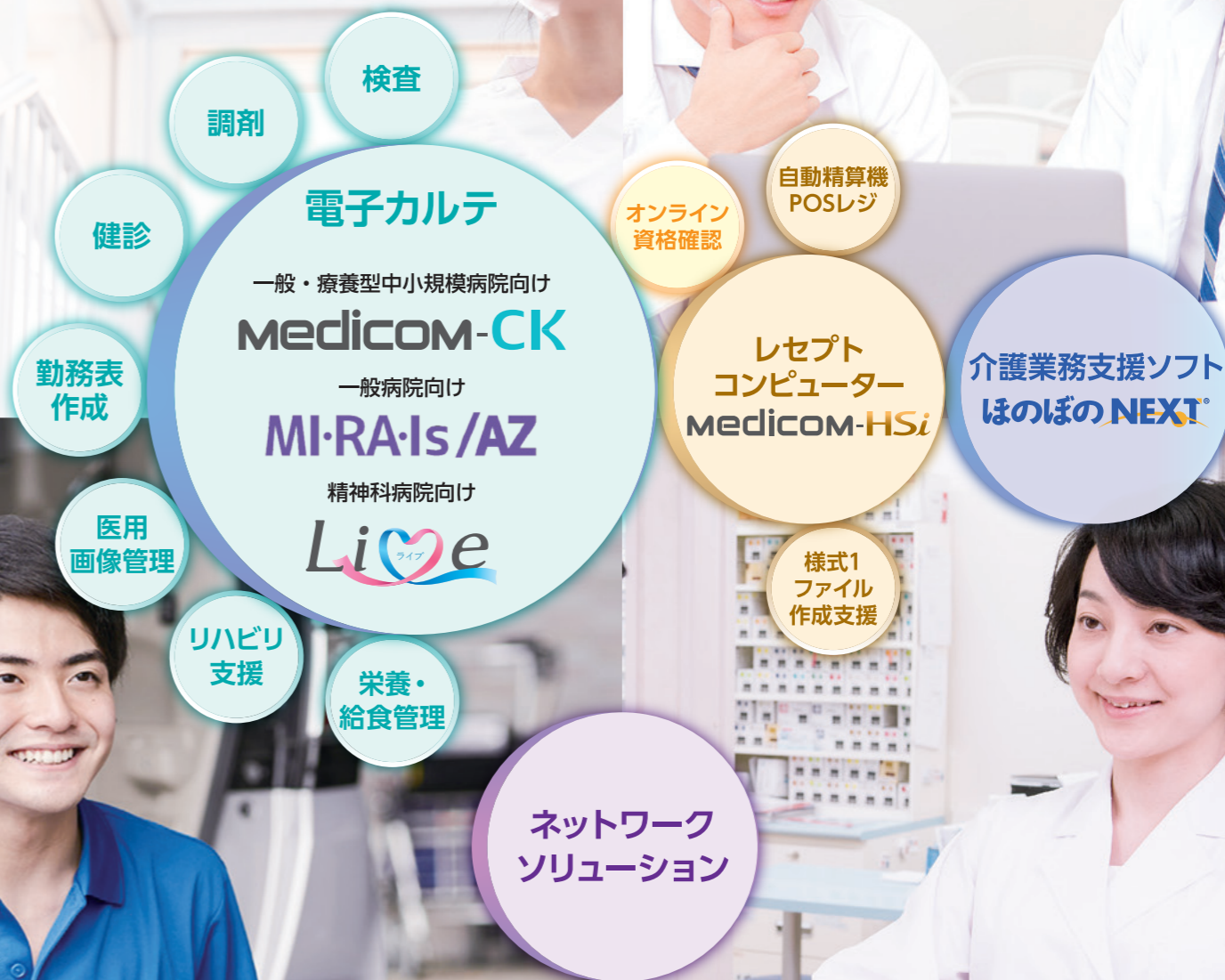
〒920-0935 石川県金沢市石引4丁目4番6号 TEL: 076-222-1655(代) FAX: 076-222-1668 E-mail: post@sanwamedical.co.jp

PHC

Healthcare with Precision

Medicom

電子カルテを中心に、
幅広い商品をラインナップ
安定したネットワーク環境で
病院業務をトータルにサポート



他にも電子カルテと連携する様々なシステムがあります。

また診療所向け、保険薬局向けシステムも取り扱っておりますので詳しくはお問い合わせください。

※[MI-RA-Is]の開発元は、株式会社CEホールディングスです。※[MI-RA-Is]は、株式会社CEホールディングスの日本における登録商標です。※[Live]の開発元は、株式会社ライブワークスです。※[Live]は、株式会社ライブワークスの日本における商標です。※[MEDICOM]および[メディコム]は、PHCホールディングス株式会社の登録商標です。※「ほんのぼのNEXT」はNDソフトウェア株式会社の登録商標です。

■ お問い合わせ・デモンストレーションのご依頼などお気軽にご相談ください!

PHCメディコム株式会社 ソリューション営業統括本部

病院営業部/病院SEサポート部 〒110-0005 東京都台東区上野1-4-8 上野横山ビル 1F TEL.03-5812-3325

弊社ホームページよりお問い合わせください

<https://www.phchd.com/jp/phcmn/hospital>





1986年 早稲田大学理工学部機械工学科卒
 1986年 三菱商事株式会社入社
 2009年 エム・シー・メディカル株式会社代表取締役社長就任
 2013年 日本メディカルネクスト株式会社代表取締役社長就任
 2017年 エム・シー・メディカル株式会社代表取締役社長就任
 2019年 エム・シー・ヘルスケア株式会社代表取締役社長就任
 2022年 エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社代表取締役社長就任

エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社
 代表取締役社長

木村 真敏 氏



1980年 日本医科大学卒
 1986年 金沢大学大学院医学専攻科卒(医学博士)、金沢大学第2外科助手を経て
 1992年 恵寿総合病院外科科長
 1993年 同病院院長(2008年退任)
 1995年 特定医療法人財団董仙会(2008年11月より社会医療法人財団に改称、2014年創立80周年)理事長
 2011年 社会福祉法人徳充会理事長併任

社会医療法人財団 董仙会理事長

神野 正博 氏

医療系商社に 期待する役割

「モノ」から「コト」へ

在庫管理から解放され 看護師が本来業務に集中

神野 木村社長とは長いつきあいでありますが、こうして面と向かって話すのは久しぶりですね。
木村 はい。神野先生と初めてお会いしたのは1994年、先生が恵寿総合病院の院長に就かれた翌年でした。

神野 そうでした。私が院長に就いた93年当時、恵寿総合病院はいろいろと課題を抱えていました。経営状態が厳しく、その一方で職員モチベーションが低く、業務効率も悪い状況にありました。その大きな要因の1つが、医療スタッフ、特に看護師が物品の在庫管理に追われて疲弊し、本来の業務、コアミッションに集中できないことにあると気づいたのです。

木村 結構最近まで、看護師さんが物品管理を

任されている状況はそれほど珍しくありませんでした。むしろそれが当たり前の風潮があり、90年代前半、その部分を改善するという発想のドクターはほとんどいませんでした。

神野 看護師は欠品すれば医師から叱られるので必要量よりも多めに発注し、管理もずさんになりがちでした。お金も場所も無駄が多かった。そりゃそうですよね、注射器の本数や手袋の枚数を数えるために看護師になったわけではないですから。

こうした状況を何とか改善できないかと思案した挙句、思いついたのがバーコードを使った物品管理システムでした。当時はまだスーパーの一部でしか導入されていませんでしたが、あるベンダー(納入業者)を通じて、三菱商事がSPD事業を開始するらしいと聞き、コンタクトを取りました。導入時に担当社員として来てく

診療材料などの物品管理にいち早くIT(情報技術)を活用し、国内の医療機関で初めて本格的な「院外型SPD(物品物流のデータ管理)」を導入するなど、常に先進的な取り組みを進めてきた董仙会グループ。能登という超高齢社会と深刻な人口減少地域にあつて、大胆とも映る戦略を先頭に立って推し進めてきた神野正博理事長と、その取り組みの根幹を約30年にわたり支えてきた三菱商事グループの医療分野における中核企業エム・シー・ヘルスケアホールディングスの木村真敏社長。「战友」と呼び合う二人に、病院が本場に必要とする医療系商社の役割などをテーマに語っていただきました。

れたのが木村社長でしたよね。

木村 はい。それが先生との出会いでした。当時の私の上司は「最初の病院が東京ではなく、石川県の七尾で本当に大丈夫か、不安な部分もあったが、神野先生のやる気とリーダーシップに惚れ込んで受注した」と話していました。

SPDの導入 肝は「働き方改革」

神野 SPD導入のコンセプトは、今で言うところの「働き方改革」でした。職員の業務効率化とモチベーションの向上が狙いで、在庫管理から解放された看護師さんに手厚い看護を受けられるようになった患者さんにも喜ばれました。余剰在庫の削減や倉庫の撤去で大幅にコストが削減されて、病院の経営状態も改善されました。患者さん、職員、法人の「三方よし」の働き方改革となったのです。言い換えると、病院として、患者さん、職員、法人自身に対するバリュー(存在価値)を高めることができたのです。

木村 当時いくつもの医療機関に「在庫管理はプロに任せて、看護師さんはずっと患者さんの近くにいてあげてください」と申し上げましたが、「働き方改革」という発想もない時代、経営側からは、直接看護師さんの人数そのものを減らせる訳ではないなどと、なかなか理解して

[SPD] Supply Processing and Distributionの略で、病院が使用する医療消耗品の購入から在庫管理までを物品管理システムを使用して管理する仕組み。必要なものを、必要な場所へ、必要なだけ届けることで、不良在庫や期限切れ製品の防止、購入価格の抑制などにつながる。エム・シー・ヘルスケアでは、病院内の倉庫を活用する「院内型SPD」に加え、病院の外部に倉庫を設置し地域内の病院の共通倉庫の機能を担う「院外型SPD」を推進している。

いただけませんでした。恵寿総合病院に先鞭をつけていただき、効果がしっかりと示されたことが、私どものSPDを全国に広める転機となりました。そして多くの看護師さんから大変感謝されました。

神野 それは良かったです。ところで、御社の契約医療機関は今、どのくらいあるのですか。

木村 6月1日現在で326病院、12万9258床です。28年前、恵寿総合病院の400床から始めさせていただき、今はその300倍余りとなりました。グループの取扱高も、2021年には3830億円となっております。

病院の困りごとを代行する「モノ」 病院から認められる存在に

神野 劇的な急成長ぶりですね。木村社長のパワーの源はなんですか。

木村 目の前の患者さんの為に頑張っていらい

しやる医療従事者、病院のために貢献したいという素直な思いです。そして、病院が困っていることを代行することで病院から認めていただける。このことが仕事のやりがいになっていきます。

神野 御社には医療材料費の地域格差縮小にも貢献していただいています。

木村 医療材料は多くの製品で定価の基準が曖昧で、同じ製品でも地域や経営母体の異なる病院間でばらつきがあるのが現状です。例えばコンビニで、北海道と九州の店で商品の値段が違うことなどあり得ないのですが、医療の世界ではまかり通っていました。

神野 我々医療従事者はそういった違いに気づきにくく、言われるままに購入し、必要以上の経費を支払うケースが少なくありませんでした。**木村** 弊社は全国各地に物流拠点を持っており、地域ごとに購入価格が大きく違うことを不可解に思っていました。また、私は1989年に三菱商事が医療分野で初めて100%子会社として設立したエム・シー・メディカルに出向し、輸入代理業に携わっていた関係で、内外価格差についても存じておりました。

一方で、病院が卸売業者と交渉しても多くの場合、効果は限定的です。そこで、緻密な交渉力と情報収集力を有する弊社が病院と一緒に交渉し、材料費削減を支援させていただくことに

しました。

木村 講演を楽しみにして、毎年欠かさずご参加いただいている先生方も少なくありません。

神野 「考える会」は、病院間で共通する悩みを一緒に考え、解決策を探る良い機会になっています。経営グループの枠を越えて自発的に連携する動きも出ています。「生みの親」として、会の発展をうれしく思います。

病院、社員と「夢」を共有 苦境乗り越え、次なる一手

木村 「考える会」やSPDなどを通じて医療界にある意味、イノベーションを起こせたのではないかと自負しております。SPD事業を始めた当初、業界内で「黒船」と誤解されたり、経営的に大変厳しい時期もありました。それらの苦境を乗り越えられたのは、神野先生をはじめとする多くの先生方のご支援やピンチの時も辞めずに残ってくれた社員たちと「病院を良くしていくんだ」という「夢」を共有し続けてきたからだと思えます。

神野 その「夢」を今後も叶えていく上で、次なる戦略は何ですか。

木村 「スマートSPD」を展開したいと思っています。材料の分割(小分け)作業など人手に頼っている部分をDX(デジタル技術)やロボテイクスの活用で縮小し、分割用ビニール袋も削

病院の「困った」を先読みし

致しました。**神野** そうして購入した材料を病院が使う分だけ届けてくれて、材料購入ロスの抑制になっています。

第一線の専門医が物品選定 病院主導の共同購入組織

木村 地域価格差のような医療界の「おかしいな」と思う部分を病院と一緒に直していくことも、この仕事のやりがいです。医療材料の購入支援に関しては、複数の病院の物品を集約して価格交渉する共同購入にも力を入れています。その進化形といえるのが、神野先生も設立に携わられた国内最大の共同購入組織・日本ホスピタルアライアンス(NHA)です。

神野 医師の多くは価格よりも使いやすさかどうかを優先します。この傾向を受けて、企業主導ではなく、病院による病院のための共同購入団体を設立してはどうか、と思ったのです。

木村 そのお考えに基づいて、各診療科の第一線の先生方が選定委員となり、性能や使いやすさなどを確かめて品物を絞り込んだ上でサプライヤーと価格交渉するスタイルをとっております。弊社は事務局を務めておりますがNHAは独立した法人組織であり、今年4月現在、320病院が加盟しています。当初は弊社のSPDを利用する病院からスタートしましたが、

減して環境に配慮したサービスに進化させたいです。

もう一つは、IT関連企業と病院の橋渡しをするマッチングプラットフォームの整備です。IT企業との連携により、業務の効率化や医療の質向上を図れる場合が多いのですが、そのことに気づいていなかったり、どの企業と連携すれば良いか分からなかったりする病院が多い現状を受け、専用サイトを開設しました。

神野 病院がまだ気づいていない困りごと、潜在的な困りごとを先読みして解決策を提示する。病院が医療系商社に求めるのは、まさにこの点であり、御社のSPDもこの思想に基づいているのだろうと思えます。

木村 神野先生は以前、能登は日本の20年先を行っている、とおっしゃいました。高齢化率、人口減少率とも国内最速ペースで進んでいることを指してお言葉でしたが、神野先生の取り組みこそ、日本の医療が今後やるべきことの先読みだと思えます。

神野 私が導入してきたシステムの多くは御社をはじめとする外部企業との提携関係から生まれたものです。1病院ができることには限界があり、これからも「戦友」として、サポートをお願いします。

木村 こちらこそ、今後ともよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

今は利用されていない病院にも参加していただいています。参加病院間で情報の共有・交換も図られています。

経営改善へ病院同士が連携 顧客向けイベントを毎年開催

神野 病院同士の情報共有・交換といえば、御社のユーザー会である「病院の経営を考える会」は、今年で何回目を迎えましたか。

木村 今年2月に第22回を開催しました。弊社のSPDを早くから導入していただいている病院の先生方は総じて改革意識が高く、そういった方たちが連携して経営改善を考える機会を作ってはどうか。神野先生からこのようなご提案をいただいたいき、2000年にスタートしました。ここ2年はコロナの関係でオンライン開催となりましたが、本来は毎年2日間にわたってパネルディスカッションや、その時々々の旬の話題をテーマにした講演会、ワークショップなどを行っております。

神野 歴代講師にはJR東海の葛西敬之会長や日本IBMの北城格太郎会長、棋士の羽生善治氏、星野仙一監督、堺屋太一氏もいらっ

【病院の経営を考える会】

急性期の医療機関の経営に焦点を当て、時機に合ったテーマや、関心の高い「企業経営」「マネジメント」に主に題材を求め、各界の有力な講師による講演や討議を展開。設立母体の異なる医療機関が交流し、意見・情報を交換する場となっている。



エム・シー・ヘルスケアグループ

2021年度取扱高(連結)3,830億円。従業員数(連結)2,797人(2022年4月末/非正規社員含む)。2022年4月、持ち株会社、エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社(代表取締役社長 木村真敏氏)を設立、同社と以下4つの事業会社から構成される新体制に。医療材料・機器等の調達支援や共同購入を通じて病院経営の改善・効率化を行うエム・シー・ヘルスケア株式会社。最先端医療機器の輸入販売を行うエム・シー・メディカル株式会社および日本メディカルネクスト株式会社。日中両国の医療への貢献を目指し、最新医療機器の輸入・輸出を行うエム・シー・ヘルスケア中国(迈羲医疗器械(上海)有限公司)。

地域の方々の健康と、医療の未来のために。

1976年に神戸の第1号店から始まり、全国にネットワークと信頼を広げてきた阪神調剤薬局。
調剤薬局事業をサービス業と考え、処方箋に従ったお薬をお渡しするだけでなく、接客サービスの向上に努める一方で、店舗常駐の管理栄養士による栄養相談を行うなど、調剤薬局の枠にとどまらないサービスを次々と展開しています。

阪神調剤グループ店舗数
548 店舗

※2022年7月1日 現在



敷地内薬局

高齢化に伴い、多剤投与や重複投与の課題が深刻化しています。その問題を解決するために当社は「敷地内薬局」を積極的に展開しています。医師との連携を図ることで、より高度な薬学管理、服薬指導を行います。また病院敷地内に店舗を構えることで患者様の利便性を高め、さらには地域医療を支えることで患者様・地域住民の皆様へ貢献することのできる、新しい薬局の形です。



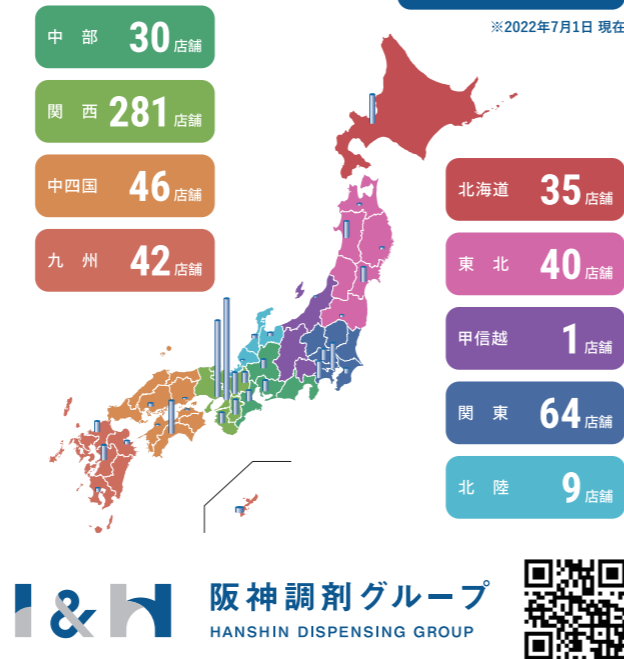
健康サポート薬局

かかりつけ薬局として病気の有無にかかわらず、地域の方が気軽にお越しいただける場所として運営しています。当社での健康サポート薬局のモデル店である『ちしまメディカルパーク店』では、管理栄養士による健康レシピ調理講座や健康測定コーナーでは、常駐の薬剤師による健康相談などを行っています。



医療ビル・医療モール型薬局

複数の異なる診療科のクリニックが1つに集まる、医療ビル・医療モール。1か所で複数の医療サービスを受けられることから、地域の患者さまにとって利便性が高く、近年増加している医療形態です。その中にある薬局では医療連携を積極的にに行い、それぞれの診療科に合わせた専門性で地域の患者さまの健康を支える役割を担っています。



I&H 阪神調剤グループ
HANSHIN DISPENSING GROUP



芦屋本社 兵庫県芦屋市大槻町 1-18 | 東京本社 東京都港区虎ノ門 1-1-12 TORANOMON BUILDING 10階 | <https://i-h-inc.co.jp/>

省エネと環境負荷低減 に取り組み、 貴社の環境改善に 貢献します。



RYOKI 空気調和・給排水設備工事・設計施工

菱機工業株式会社

取締役社長 北川 雅一郎

〈金沢本社〉金沢市御影町10番7号
TEL:076-241-1141
<http://www.ryokikogyo.co.jp/>

東京本社	東京都豊島区西池袋5丁目1番3号 メトロシティ西池袋	仙台支店	仙台市宮城野区扇町5丁目9番13号
金沢支店	金沢市御影町10番7号	福井支店	福井市開発4丁目119番地
新潟支店	新潟市中央区笹口3丁目7番地15	長岡支店	長岡市川崎町2279番地27
富山支店	富山市黒瀬北町2丁目17番地6	長野支店	長野市大字石渡21番地5

すべては医療現場のために。

エム・シー・ヘルスケア株式会社



医療機関向け IT・デジタルサービスの比較・検索サイト - コトセラ

もっと患者さんのために
時間を使えるように



コトセラでできること

最新ソリューションとのマッチングに向け、
適切な情報収集から、ソリューション検索、メーカーへのアプローチまでワンストップで可能！

情報収集	ソリューション検索・比較	アプローチ
<ul style="list-style-type: none"> ● ウェビナー ● トピックス(記事) ● 医療ニュース 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題/カテゴリー名から探す ● 部門/職種から探す ● サービス比較 ● 資料ダウンロード 	<ul style="list-style-type: none"> ● チャットでの質問 ● 面談日時調整 ● 面談実施

Matching!
マッチング

医療機関の働き方改革、経営改善、業務効率化を叶えるための
最新ソリューションがきっとある。
コトセラは医療機関向けIT・デジタルサービスの比較・検索サイトです。

<https://www.cotocellar.com/>



〒108-0075 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 12階
TEL:03-5781-7800 FAX:03-5781-7809 <https://mc-healthcare.co.jp>



クリニック2階に整備された自由診療を行うスペース

地域医療 最前線

第3回

ねがみ みらい クリニック

七尾市万行2丁目66 TEL 0767-53-7211



ねがみまさこ 根上昌子 院長

- 1992年 4月 金沢大学医学部第三内科 呼吸器科
 - 1993年 4月 社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院(出向) 研修医
 - 1995年 4月 金沢西病院(出向) 呼吸器科
 - 1996年 4月 国立療養所金沢若松病院(出向) 呼吸器科
 - 1998年 7月 NTT西日本金沢病院(出向) 健康管理部部长
 - 2002年 4月 恵寿総合病院(出向) 健康管理センター所長
 - 2013年 7月 東海大学医学部附属八王子病院 健診センター
 - 2014年 4月 東海大学医学部基礎診療学系健康管理学 講師
 - 2015年 4月 社会医療法人財団石心会さやま総合クリニック 健診センター 副センター長(出向)
- 日本温泉気候物理医学会温泉療法医・専門医、人間ドック健診専門医・指導医、日本オーソモレキュラー医学会会員、点滴療法研究会会員、柳澤医新塾2期生、日本ウエルビーイング医学協会評議員

地域医療の灯、消したくない

医師不足が深刻な能登に今春、新たな地域医療の灯がともりました。七尾市万行2丁目66で4月に開院した「ねがみみらいクリニック」です。院長の根上昌子さんは1月まで、埼玉県内の総合クリニックに勤務していました。なぜ、首都圏から能登に活動の場を移したのでしょうか。この質問に対して根上さんは、屈託のない笑みを浮かべてこう答えました。

「能登、とりわけ七尾は、病気を予防し、健康を維持するための医療ができて理想的な地域なんです」

根上さんのクリニックは七尾市の中心部から東に約2・5キロの場所

にあります。ここには3月まで岡田胃腸科外科クリニックがありました。1984年の開業から38年、1日約300人が訪れた時期もあったといいます。このクリニックから東側、富山県境に至る範囲に総合診療所は1軒もなく、岡田胃腸科外科クリニックは同市東部地域の医療の灯といえる存在でした。

しかし、院長の岡田成さん(82)は年を重ねるごとに、いつかは1人でクリニックを続けていくことに限界が訪れると思うようになり、数年前から後継者を探していました。

「うちを閉めたら水見境まで一般診療の医院はなくなってしまう。患者さんの中には車を運転できないお年寄りも多く、勝手に閉院できないのが悩み

でもありません」(岡田さん)。

岡田さんが病院の継承者を探していることを根上さんが知ったのは昨年早春。知り合いの医療関係者からの情報でした。2002年から11年間、七尾市の恵寿総合病院に勤めていた根上さんは、県外に転出した後も「いつかまた七尾に戻りたい」との思いを抱き続けていたそうです。

「豊かな自然と食文化、程よい湿り気を含む澄んだ空気、それに温泉。七尾は予防医学に取り組みうえて、とても恵まれた環境にあります」。

七尾の魅力語る根上さんの口調は熱を帯びます。

埼玉にいたころ、根上さんは同じ七尾でも和倉での開院を思い描いていました。温泉と組み合わせた医療を提供したかったからです。しかし、岡田さんのクリニックが閉院すると市東部地

域の多くの住民が困ることを伝え聞き、継承に名乗り出ました。

「かかりつけ医プラスα」 「元気な人も来院して」

根上さんのクリニックは、岡田さんのころとは異なり一般内科がメインですが、平日の休診日をこれまでと同じ木曜とし、可能な範囲で外科系の患者にも対応するなど、これまで通り、住民の「かかりつけ医」としての役割を担います。

その一方で、女性外来や漢方外来、頭痛外来、禁煙外来などの診療科目を新設し、常連の患者に加えて30〜40代の新規女性患者も多く訪れるようになりました。一般内科は来院しなくてもスマホやパソコン画面で診察と薬の処方を受けられるオンライン診療も受け付けています。

「健康状態が優れない時だけでなく、元気な人も美容や健康に関する悩みの相談、情報を得る場所として気軽に足を運んでいただきたい。患者さんの5年先、10年先の健康について一緒に考える場にしたのです」

根上さんが力を入れる分野の1つが「アンチエイジング(抗加齢)」です。能登の医療機関では珍しい高濃度ビタミンC点滴やプラセンタ注射、オゾン療法、「オーソモレキュラー栄養医学(分子矯正医学)」などの自由診療のメニューをそろえました。高濃度ビタミンC点滴はがんの治療にも用いられ

「予防医学の理想郷」首都圏から七尾へ

あまり聞きなれない「オーソモレキュラー栄養医学」とは、栄養素と食事によって心と体を改善するカナダ発祥の療法で、国内でも自律神経が乱れたり、うつ状態薬だつたりした人が薬を使わずに治った例があるといわれています。「医食同源」の進化したスタイルとも言え、東京にはこの栄養医学に基づいたメニューを提供する医師監修のレストランもあります。

このほか、問診や血液検査の結果から不足する栄養素などを分析し、それらを補うサプリメントの処方も行っています。7月末にクリニック2階を改装し、これら自由診療を行うフロアを整備しました。

「治す」よりも「防ぐ」「ケアオルト」へ思い熱く

能登では斬新とも映る診療内容は、長く病院の健診医を務めた経験から、医学は病気を治す以上に、予防することが大切な役割であると考えようようになったことが背景にあります。

その「予防医学」の観点から、根上さんには七尾でぜひ叶えたい「夢」があります。和倉温泉にゆったり連泊しながら、従来の温泉療法や気候療法、先進医療を受ける「ヘルスツーリズム(健康増進を目的とした旅行)」に、点滴療法やオーソモレキュラー医学を取り込んだ新しい形のヘルスツーリズム

です。

「七尾は一級のケアオルト(健康保養地)になり得ます。年に1度はこの町を訪れてリフレッシュし、心も体も元気になって日常に戻ってもらう。また構想段階ですが、和倉温泉の皆さんら地元の方たちの協力を得て、癒しと健康の『聖地』にしたいですね」

ヘルスツーリズムに関しては恵寿総合病院勤務時代に学んだそうで、「自然が豊かなだけでなく、高度な医療もしっかり受けられる。離れてみて、この町の素晴らしさを再認識しました」

5月21日土曜、根上さんのクリニックに岡田さんの姿がありました。継承後、順調にいっているのか気になって見に来たのかと思いきや、そうではなく、一人の患者としての来院でした。

「良い継承者が見つかって、わしもようやく安心して養生できるようなったわい」

岡田さんの穏やかな笑顔に、根上さんに寄せる期待と信頼が滲んでいました。



※【気候療法】森林や山間部などの自然環境の中で気持ちを落ち着かせたり、運動したりすることで疾病の緩和や予防、健康を増進させるドイツ発祥の療法。

聞き手 フリーアナウンサー 福田佳緒理さん

医療現場の安全・安心を支えて半世紀

信頼と期待を担い 新たな50年へ

医療はチームワークで成り立っています。医師、看護師などの医療従事者に加え、医療現場の安全・安心を支える企業もチームの一員です。今夏、創業50周年の節目を迎えた環境開発株式会社（金沢市）は石川県内の医療系産業廃棄物処理のシェア約8割を占め、多くの医療機関が信頼を寄せています。感染性廃棄物などの処理方法や同社の歩み、経営理念について、フリーアナウンサーの福田佳緒理さんが高山盛司社長に聞きました。



高山 盛司 (たかやま・せいし)

金沢市出身。北陸工業専門学校測量本科卒。内川建設株式会社常務取締役、同社代表取締役などを経て2005年環境開発取締役、2011年同社代表取締役。2022年（一社）石川県産業資源循環協会会長に就任。

せん。焼却処理として無害化できるのは県内で弊社だけという強みがあります。
福田 一貫した対応は、依頼する医療機関側にもメリットが大きいのでしょうか。
高山 万一、廃棄物の処理で問題があれば、排出した事業者も法的責任を問われる可能性があります。そういった点からも依頼先は慎重に選定する必要があります。弊社は一括管理の上、実績を積み上げてきたことが、信頼につながっているのだと考えています。

福田 御社は安全性優良企業にも認定されています。これも多くの医療機関が信頼を寄せる理由の一つでしょうか。
高山 はい。弊社は収集にあたる運送部門の安全性が高く評価されて「安全性優良事業所」（通称Gマーク）に認定されています。さらに、環境省の優良

産廃処理業者認定制度でも「優良」と評価されました。この制度では①遵法性②事業の透明性③環境配慮の取り組み④電子マネIFESTO⑤財務体質の健全性の5項目で基準が示され、すべて適合しなければなりません。弊社は法令を遵守し、事業内容はホームページ等で積極的に公開しています。環境配慮ではISO14001認証を取得済みであり、財政面も経常利益が3期連続黒字であるなど安定してお

ります。また、産業廃棄物の行き先を管理し、不法投棄を未然に防ぐため、紙でやり取りしていたマネIFESTO情報を電子化し、ネットワーク経由で提供できる仕組みも導入しました。
福田 認定を受けるだけでなく基準をクリアし続けることも大切なのですね。
高山 この業界の特殊な点は、トラブルや事件が起きる度に法律が改正され、基準がより一層厳しくなることです。単に基準が変わるのではなく、厳しい内容が上乘せられて、縛りがきつくなる場合が多いのです。他県の事件でも影響が及び困惑することもあります。今後も引き続き基準をクリアし続けるように努めます。

専用容器で厳重管理 感染性廃棄物も安全に処理

福田 医療廃棄物は、感染性廃棄物と

医療系廃棄物の取扱量 石川県内トップシェア

福田 創業50周年おめでとうございませう。御社は廃棄物処理企業の中でも、医療系廃棄物の処理で石川県トップの地位を築かれています。県内でのシェアはどのくらいでしょうか。
高山 はい、県内に22ある国公立病院のうち17病院を担当させていただいております。私立病院についても8割程度は受け持たせていただいているのではないかと思います。また、2020年度に石川県内で排出された感染性廃棄物約3800トンのうち約3000トンを弊社が取り扱っております。

福田 およそ8割のシェアを占めているらっしゃるわけですね。高いシェアは医療機関の厚い信頼の証だと思います。御社が選ばれる理由はどこにあると思われますか。
高山 まず、自社で焼却炉と最終処分場を保有し、収集から最終処理まで一貫している点が挙げられると思います。感染性廃棄物は特別管理産業廃棄物であり、無害化処理しなければなりません。

収集から焼却、最終処分まで 自社ですべてを一括処理

高山 まず、自社で焼却炉と最終処分場を保有し、収集から最終処理まで一貫している点が挙げられると思います。感染性廃棄物は特別管理産業廃棄物であり、無害化処理しなければなりません。



バイオハザードマーク（生物学的危険性標識）がついた感染性廃棄物専用容器

非感染性廃棄物に分類されるとお聞きします。感染性廃棄物の処理フロー（流れ）について説明していただけますか。
高山 まず感染性廃棄物と非感染性廃棄物の判断と分類は環境省の処理マニュアルに基づき、医師等の有資格者が行います。廃棄する際は、金属、ガラス類、プラスチック類など、内容ごとに分別していただいています。

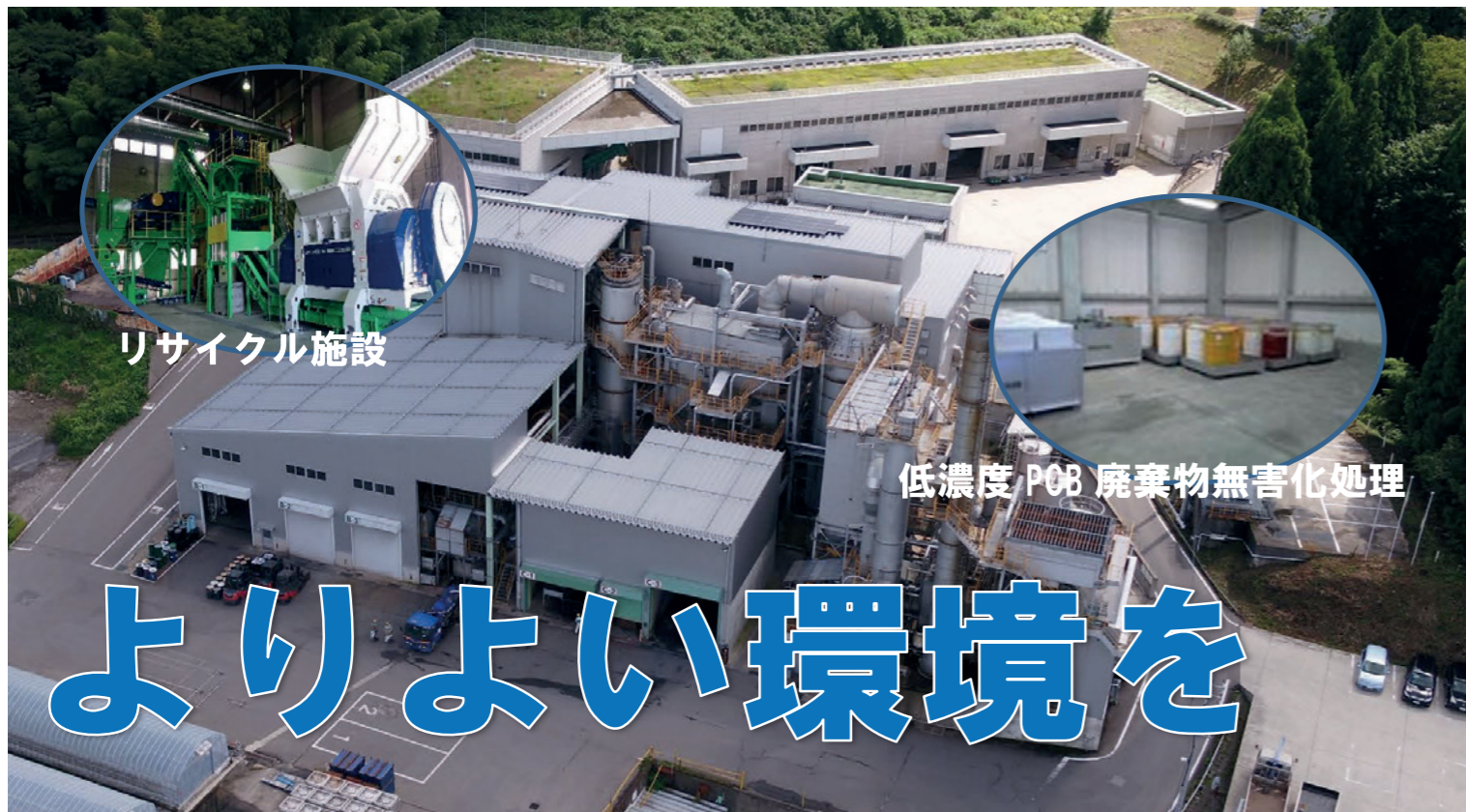
感染性廃棄物の場合、弊社では専用のプラスチック容器を使用します。廃棄物の特殊性を考慮して、星の数ほど種類がある中から、堅牢で安全性が高い容器を厳選しました。容器はいったんフタを締めると、パッキンで密閉され、再び開けることはできません。血液や体液等を含め外部に一切漏らすことなく焼却処分できるわけです。この処理フローも弊社の特長と言えます。

福田 コロナの拡大を機に、感染性廃



福田 佳緒理 (ふくた・かおり)

富山市出身。国立大学法人奈良女子大学卒業後、株式会社チューリップテレビにアナウンサーとして入社。2015年よりフリーアナウンサーとしてテレビ番組のリポーターやナレーター、イベント・式典の司会者を務めるなど活躍中。



リサイクル施設

低濃度 PCB 廃棄物無害化処理

よりよい環境を

次世代に！



感染性廃棄物処理

地域との共存

廃棄物焼却施設

本社・事務所
〒921-8046 石川県金沢市大桑町上猫下4番地7
TEL(076) 244-3132 FAX (076) 244-6235

環境開発株式会社

ホームページ <http://www.kankyo-kaihatsu.co.jp/> メールアドレス info@kankyo-kaihatsu.co.jp



廃棄物の量が急増したのではないでしょう
か。
高山 今年1月の収集回数は昨年同月
のおよそ2倍でした。一方で、私ども
は医療を支えるエッセンシャルワーカー
の一員です。社員が罹患すると収集
や処理に支障を来しますので、全社員
が健康面に細心の注意を払っています。

福田 では次に、会社が歩んできた50
年についてお聞きしたいと思います。
まず、1972年に先々代が創業され
た経緯について教えてください。
高山 創業者は私の祖父になります
ます。処理工場がある金沢市新保地区は
1954年に金沢市に編入するまで内
川村で、祖父は当時、村の助役を務め
ていました。編入で村がなくなった後
の1962年、祖父は建設会社を起こ
します。その後、今度は廃棄物処理
業に目を向け、弊社を創業したので
建設会社の仲間からは、「廃棄物が
商売になるのか」と疑問視されたそう
ですが、埋め立てにブルドーザーを使
うなど建設業のノウハウが生かせるこ
とや、1970年に廃棄物に関する法
改正があり、これから廃棄物処理の需
要が増えるの見込んで創業に踏み切り
ました。祖父は全国各地を見て回り、
創業から半年ほどで全国に先駆けて焼
却炉の1号機を作っています。その後
2代目の父、3代目の私へと事業は受
け継がれ、現在、弊社の焼却炉は8基
目と9基目が稼働しております。

栽培から出荷、販売まで
地域と協業、農場を運営
福田 地域の皆さんの協力も支えにな
ったそうですね。
高山 世間一般に「処理
場は必要な施設だが、自
分の家の横には来てほし
くない」という風潮があ
る中、創業時から開設に
ご理解をいただいたと聞
いております。代替わり
しても、地域との深いつ
ながりを大切にしたいと
いう思いは変わりません。
5年前には新保町会の皆
さんのご協力を得て、焼
却炉の排熱を利用してハ
ウス栽培でフルーツトマトやピーマン
などの野菜を育てる「新保ふれあい農
場」を開設しました。栽培、収穫から
出荷、販売まで地域の方たちと一緒に
行っています。一方で、工場見学や里
山整備など地域貢献にも力を注いでい
ます。
福田 最後に、次の50年、創業100
年に向けた高山社長の「胸の内」を聞
かせてください。
高山 半世紀存続する企業は数パーセ
ントと言われる中で50周年を迎えられ
たことを、まずはうれしく思います。
CO₂削減やプラスチックのリサイク
ルなど新たな課題も山積していますが、

何より「適正処理」を重視する弊社の
姿勢は揺らぎません。厳しくなる一方
の法規制も、みんなで知恵を出し合え
ば必ず乗り越えられると信じています。
社員数も130人を超え、企業規模
は拡大しました。医療分野をはじめ特
殊な管理が必要な廃棄物は弊社でし
か扱えないという自負もありますが、
先々代の創業理念と地域への感謝を忘
れず、新たな節目に向けて地道に、そ
して日頃より弊社に格別のお引き立て
を賜っています皆様と共に確かな歩み
を進めていきます。
福田 50周年を機に、ますます発展さ
れることを期待しています。



環境開発株式会社
設立：1972年7月
資本金：50百万円
売上高：3,400百万円
社員数：136名
本社：金沢市大桑町上猫下4-7
新保処理工場：金沢市新保町ラ24-1
リサイクル工場：金沢市住吉町ウ10



地域と健康を結ぶ
メディカルトータルサポートを目指して

著しい進歩を遂げますますます高度になる医薬、医療機器、検査機器、バイオなどのライフサイエンス。明日の医療を支える様々な進歩をナレッジメディカルは、確かな技術とノウハウでしっかりとサポートします。

ナレッジメディカル株式会社
KNOWLEDGE MEDICAL
http://www.knowmed.jp

金 沢 〒920-0842 石川県金沢市元町 2-13-8 TEL076-251-5502
富 山 〒939-8271 富山県富山市太郎丸西町 1-3-3 TEL076-421-8801
高 岡 〒933-0804 富山県高岡市問屋町 12 TEL0766-22-1985

恵寿総合病院監修
脳活アイス

医療福祉ショップめぐみ
ローソン恵寿病院店にて好評発売中

あっさりマンゴー味 **320** 円 (税込) / 1個

Point 01 常温でも「溶けない」 Point 02 脳機能改善サブリ配合

Webからも注文できます

社会医療法人財団葺仙会 恵寿総合病院 〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
TEL:0767-52-3211 / FAX:0767-52-3218 製造元：(株)アーリオ・オーリオ

広東名菜・香港飲茶
菜香楼
SAIKOHRU

和 風 中 華
招 龍 亭
SHORYUTEI

富山マール店 R4.3月OPEN!
北陸ならではの本格中国料理をお楽しみください。
〒930-0001 富山市明輪町1-231 JR富山駅ビル
4F レストラン 1F お惣菜店
TEL.076-442-3156 TEL.076-442-2156

Health recipe
管理栄養士による
免疫力アップレシピ



白身魚と海老のトマトのさっと煮 (材料2人分)

(1人分) 塩分1.2g 206kcal

- 白身魚切り身……3切れ
- 海老(冷凍でも可)……6尾
- 玉ねぎ……1/2個
- にんにく……1かけ
- オリーブ油……小さじ2
- 料理酒……大さじ2
- 湯むきトマト……大2玉
- 水……大さじ1
- ケチャップ……小さじ1/2
- 砂糖……小さじ1
- 塩……少々
- パセリ……少々

- ① 白身魚は一口大に切り軽く塩をふる。海老は殻をむき背わたをとっておく。玉ねぎ、にんにくは薄切りにする。トマトは角切りにしておく。
- ② フライパンにオリーブ油、にんにくを入れ弱火で薄いきつね色になるまで炒める。
- ③ 白身魚と海老を加えて表面を焼く。玉ねぎを加え2分ほど炒め料理酒を加えアルコールを飛ばす。
- ④ Aを加え弱めの中火で7~8分煮込んで塩で味を調える。

コールスロー (材料2人分)

(1人分) 塩分0.6g 210kcal

- キャベツ……1/4個
- 人参……1/4本
- セロリ……1/3本
- コーン……大さじ2
- マヨネーズ……大さじ3
- レモン汁……大さじ1
- 砂糖……小さじ2
- 塩・コショウ……少々

- ① キャベツ、人参、セロリは千切りにする。
- ② ①を塩水(分量外)に浸し、しんなりさせる。水気を切りペーパータオル等で水分をとる。
- ③ ボウルにAを入れて混ぜ、②とコーンを入れて混ぜる。

※お好みによってジンジャーエールと共にお召し上がりください。

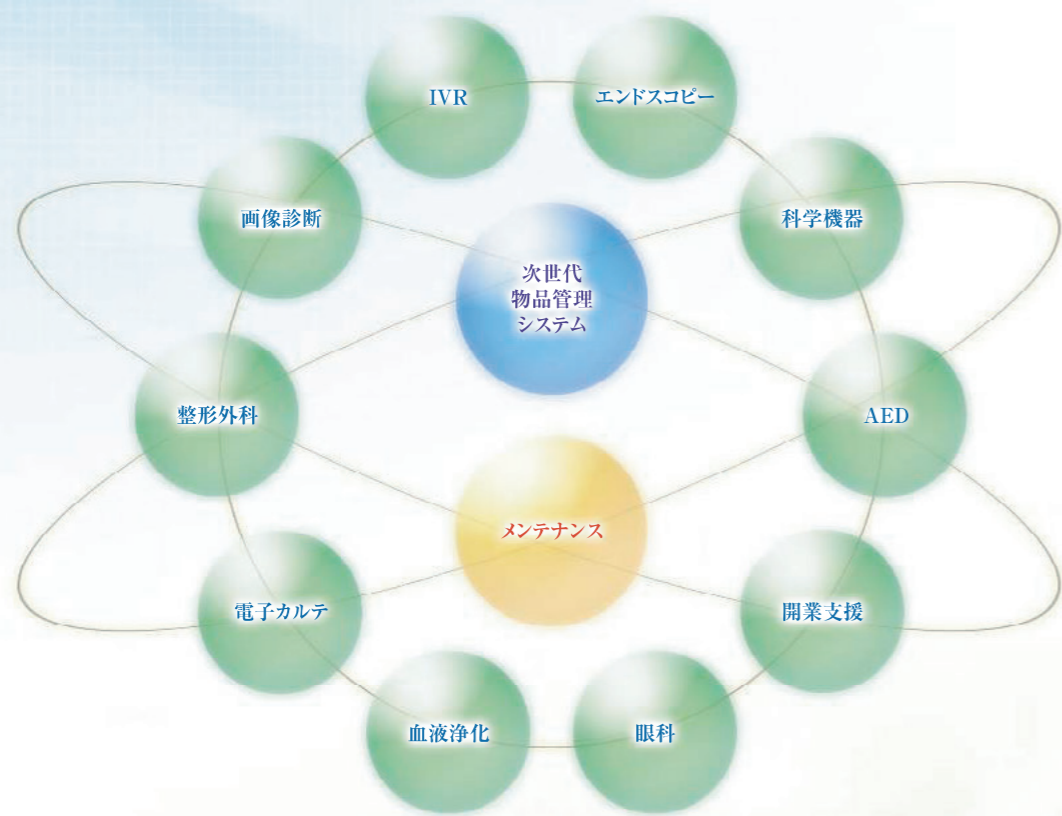
がん予防が期待される食品

がんは日本人の2人に1人は罹患するといわれています。がんのリスクを減らすには、免疫力アップが重要です。免疫力には、がん細胞を攻撃し抑え込む働きがあります。免疫力を高めることや活性酸素を無害化する抗酸化作用のあるファイトケミカルが含まれた食品が重要な役割を果たします。ファイトケミカルとは、「非栄養素」と呼ばれる微量成分でポリフェノールやアルカロイド、カロテノイドを総称するもので、具体的には植物が紫外線や有害物質、害虫などの害から身を守るために作り出した色素や香り、アク、辛みなどの成分をいいます。野菜、果物、豆類、イモ類、お茶、ハーブなど植物性食品に多く含まれ、身体の抗酸化力や免疫力アップにつながり健康維持、改善に役立ちます。特定の食物を大量に摂るのではなくピラミッドに示された食品をまんべんなく摂りバランスのとれた食生活をを行い、がんのリスクを減少させましょう。

デザイナーフーズピラミッド



医療とともに 大きな夢を育みたい。

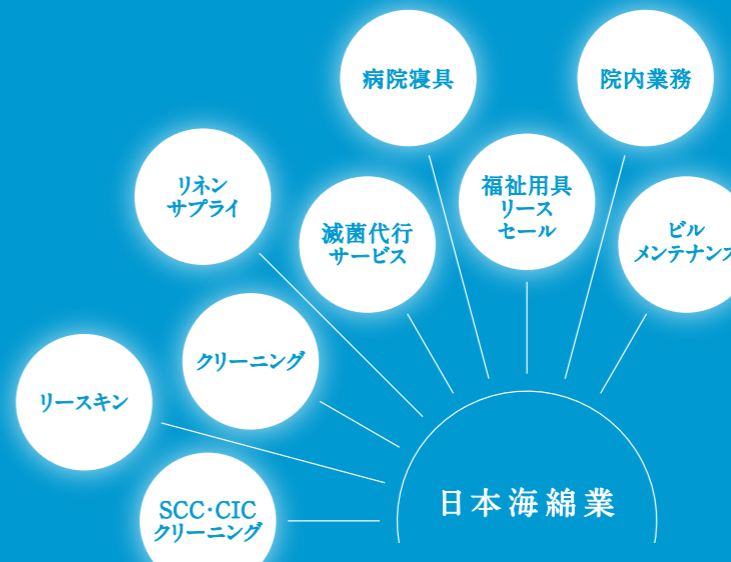


富木医療器株式会社

<http://www.tomiki.co.jp>

本社	〒920-8539 金沢市問屋町2-46	TEL (076) 237-5555 (代)	FAX (076) 237-6584
金沢支店	〒920-8539 金沢市問屋町2-46	TEL (076) 237-5555 (代)	FAX (076) 237-6584
富山支店	〒930-0873 富山市金屋767-18	TEL (076) 441-8585 (代)	FAX (076) 441-5100
福井支店	〒910-0833 福井市新保3-2302	TEL (0776) 54-0110 (代)	FAX (0776) 54-0199
七尾営業所	〒926-0033 七尾市千野町へ10	TEL (0767) 57-3567 (代)	FAX (0767) 57-3566
高岡営業所	〒933-0851 高岡市上関769-1	TEL (0766) 26-7111 (代)	FAX (0766) 26-7151

リース・販売・クリーニング
清潔環境をプロデュースする
日本海綿業グループ



NIHONKAI MENGYO
日本海綿業株式会社

本社・本工場
Tel. 076-451-4321
富山県富山市飯野2-3



メディカルサポート部 富山県富山市婦中町田屋350-1
金沢支店 石川県白山市松本町1093-1
関東支店 東京都練馬区石神井町4丁目19-11
関東工場 埼玉県日高市下大谷沢8-4
信越支店・信越工場 長野県長野市川合新田2671
新潟営業所 新潟県上越市三ツ橋1488
福井営業所 福井県福井市中角町28-33-1
能登営業所 石川県鹿島郡能登町在江5区4-1
佐久営業所 長野県佐久市中込3143-5
埼玉営業所 埼玉県日高市下大谷沢8-4
岐阜出張所 岐阜市清住町2丁目大ーグリーンビル4F

患者さまに喜ばれる
病院・診療所づくりを
全力でサポート
いたします。



X-レイフィルム	OA機器
医療機器	電子映像機器
カメラ	家電
写真用品	時計・宝飾品
カラープリント	マイクロコピー



富士フイルム・キヤノン特約店

株式
会社 **北陸ワキタ**

本社
〒920-0804 石川県金沢市鳴和2-9-25
TEL(076)252-4381 FAX(076)252-4377

福井営業所
〒918-8231 福井県福井市問屋町3-4-1201
TEL(0776)23-7489 FAX(0776)23-7479

富山営業所
〒930-0834 富山県富山市問屋町1-5-1
TEL(076)451-6525 FAX(076)451-6528



いつもの一日が幸せだと思えるのは、
大切な人たちが笑顔でいられるから。

一人ひとりに寄り添っていこう。

わたしの仕事は、この街の健康につながっているから。

薬局の未来をはじめよう。

あなたの街でいちばん身近に

調剤薬局 **1,210** 店舗

(2022年6月末)

 **アイングループ**